

2016年(平成28年)度 学校教育総合プランに沿った重点とする取り組みと評価

【 返子市立返子中学校 】

学校教育総合プランの柱 ① 授業づくり

2016年(平成28年)度

2017年(平成29年)度

2018年(平成30年)度

学校及び学年等の実態	各学年、落ち着いた学習環境のもと、ねらいを明確にし、しっかり取り組んでいる。	各学年、落ち着いた学習環境のもと、ねらいを明確にし、しっかり取り組んでいる。	
目標	学校教育目標のもと、確かな学力の向上、豊かな人間性の育成、健康・体力づくりの調和のとれた教育活動の推進を図る。	学校教育目標のもと、確かな学力の向上、豊かな人間性の育成、健康・体力づくりの調和のとれた教育活動の推進を図る。	
取り組み計画	学校図書館教育の充実と生徒の読書活動の推進。防災教育・健康教育・体力づくり・食育・環境教育・福祉教育・国際教育・キャリア教育・市民性教育の推進。情報教育(ICT)の充実。	学校図書館教育の充実と生徒の読書活動の推進。防災教育・健康教育・体力づくり・食育・環境教育・福祉教育・国際教育・キャリア教育・市民性教育の推進。情報教育(ICT)の充実。校内研究の推進。	
実践内容	授業を学校教育の基盤として、確かな学力の向上に取り組む。意欲的に取り組み、知性を養う実践を目指す。教員の授業研究の充実を図り、授業規律を大切にする。	「わかる授業」を学校教育の基盤として、学びにくさの改善を図り、確かな学力の向上に取り組む。意欲的に取り組み、知性を養う実践を目指す。教員の授業研究の充実を図り、授業規律を大切にする。	
評価	A	A	
評価の根拠	学校評議委員などの会議において、「わかる授業をめざした取り組みの成果が、学校全体の落ち着いた学習環境につながってる」と、評価をいただいた。また、教員の意識も高まり授業力も向上している。	朝学活の時間を活用し、朝読書を全学年で毎日実施した結果、学校全体で朝から学習に向けた、静寂で落ち着いた雰囲気を作ることに繋がった。また、校内研究において、わかる授業を目指し、計画に基づく指導を目指した。学びにくさの改善においては、ユニバーサル化の考えのもと、個々に応じた学習形態を考えられるようになった。その結果、前期授業評価アンケートにおいて、全ての項目で70%以上の肯定的回答を生徒から得ることができた。	
課題	研修時間、研修内容が不足しており、生徒に還元できていないことがあるため、教員の自己啓発をさらに充実させたい。	校内研究の内容精選を行い、日々の業務とのバランスと、教職員及び生徒の現状を考慮しながら、教員一人ひとりが十分に取り組むことのできる校内研究の内容、方法を考えていくとともに、研究や研修を深め、教科会を充実させ、教員のスキルアップを図る必要がある。	

2016年(平成28年)度 学校教育総合プランに沿った取り組みと評価

【 返子市立返子中学校 】

学校教育総合プランの柱 ② 集団づくり

2016年(平成28年)度

2017年(平成29年)度

2018年(平成30年)度

学校及び学年等の実態	基本的な生活習慣を身につけられるような集団になってきている。問題行動については、個に応じた指導(生徒指導と支援教育)により理解が深まっている。	基本的な生活習慣およびルール・マナーの大切さを理解できる集団になってきている。問題行動については、個に応じた指導(生徒指導と支援教育)により理解が深まっている。	
目標	お互いの違いを尊重し、認め合える集団作りを目指す。生徒を多面的に理解し地域や保護者と信頼関係を構築する。	お互いの違いを尊重し、認め合い、協力し合える集団づくりを継続し、高め合える自主的な集団を育成する。多様な生徒の学びを支えることができるように、地域や保護者との連携を目指す。	
取り組み計画	保護者等と連携した生徒の基本的な生活習慣の育成。学校からの多様な手段による情報発信と保護者・地域との密な連携。	学校と保護者の信頼関係に基づいた、安心して安全な学習環境の整備や情報共有に取り組む。保護者等と連携した生徒の基本的な生活習慣の育成を図る。学校からの多様な手段による情報発信と保護者・地域との密な連携を図る。学級・生徒会活動において自主的な活動を促し、支援していく。朝読書を全校で取り組むことにより、落ち着いた学習する雰囲気をもった集団を目指す。	
実践内容	褒めること、認めることを探し、保護者・本人に伝えていく。生徒の多面的な理解を重ねて指導にあたった。	生徒を褒めること、認めることを大切に、その内容を保護者と共有する。生徒の多面的な理解を深めながら指導にあたる。生徒による企画・運営(役割と出番)の機会を与え、指導・支援していく。	
評価	A	A	
評価の根拠	学校生活全体に安心感が根付き、前向きに学習に取り組むことができるようになってきている。	生徒会行事や学年行事において、学年協議会・常任委員会や実行委員会を中心に、生徒が主体的に取り組むことができている。また、その活動が校内の落ち着いた環境に結びつき、生徒が安心して、前向きに取り組むことができている。	
課題	子どもの多様性を理解・共有しながら、保護者との密接な連携が図れるようにさらに努力し、学校への理解・協力が得られるようになっていきたい。積極的な生徒指導を柱としながら、予防的な支援を充実させていきたい。	地域に根ざした生徒会活動(地域清掃等)を充実させ、地域の一員としての自覚と地域連携をさらに深めて行く。また、生徒一人ひとりに、役割と活躍できる場面を多く設定し、自己有用感を向上させるように取り組みたい。	

2016年(平成28年)度 学校教育総合プランに沿った取り組みと評価

【 返子市立返子中学校 】

学校教育総合プランの柱 ③ 学校組織づくり

2016年(平成28年)度

2017年(平成29年)度

2018年(平成30年)度

学校及び学年等の実態	支援教育への理解が深まり、不登校の減少や学習環境の整備が整いつつある。	支援教育への理解が深まり、個に応じた支援により、学習環境が整えられ、不登校や不適応が減少している。	
目標	支援体制の充実・学習環境や授業のユニバーサル化やインクルーシブへの取り組みを推進する。	支援体制の充実、学習環境や授業のユニバーサル化やインクルーシブへの取り組みを推進する。積極的な生徒指導と支援の一体化を目指すとともに、学びにくさの改善を図る。	
取り組み計画	予防的な対応を心掛ける。早期の対応を行う。個に応じた指導を行う。	保護者との信頼関係を構築し、多面的な理解を深め、予防的な対応を心がけ、個に応じた早期の対応を行う。学校組織を標準化することを通して、校務分掌をわかりやすくしていく。	
実践内容	個別支援や特別支援学級での協同学習により、学習に参加することができる機会を増やした。	支援を要する生徒への支援体制の充実(個別の支援・指導・補充的な学習の計画等を日課表に位置づけ)を図り、学習に参加することができる機会を増やす。	
評価	A	A	
評価の根拠	登校の定着ができるようになったり、授業への取り組みが向上した。	機能する支援教育の観点から、組織的に生徒と向き合うことで、信頼関係を深め、保護者とともに考えることができるようになった。	
課題	支援を必要としている生徒がいることを踏まえた、共通理解に基づいた支援教育の充実を図る。	教職員間で、「生徒指導＋支援教育」について共通理解を図り、支援計画に基づいた、支援教育の充実に取り組む。	

学校教育総合プラン実施計画・評価一覧 2016(H28)～2018(H30)

【 逗子市立逗子中学校 】

3 つの 柱	項 目	行 動 プ ラ ン	3年間を見据えた取り組み内容 (できるだけ具体的な内容で記載する)	成果	重点	成果	重点	成果	重点	項目別	項目別	項目別	柱別	柱別	柱別			
	実施計画の重点等			2016	目標	2017	目標	2018	目標	2016	2017	2018	2016	2017	2018			
I 授 業 の シ ン ジ ン	1 授業力の向上	① 「確かな学力」を育むための指導の充実	校内研究と連動し「生徒一人ひとり」に視点をあてた研修の実施と授業改善を図る	A	<input checked="" type="checkbox"/>	A	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		② 授業研究の充実	学習評価の工夫、及び、研修意欲を高めると共に研究授業を日常化する	B	<input type="checkbox"/>	B	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	73%	73%							
		③ 学習規律の確立	学校教育目標や発達段階に応じた継続性のある学習規律を作成する	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
	2 多様な教育活動の充実	① 読書活動の推進	朝読書や読書週間の内容を充実し興味の湧く本を紹介する	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		② 防災・減災教育の推進	生徒自らが防災・減災について考え、実践できるようにする	B	<input checked="" type="checkbox"/>	B	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		③ 食育と体力づくり・健康教育の推進	食に関する知識と選択する能力を持ち、健全な食生活を実践する	A	<input type="checkbox"/>	B	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		④ 情報教育の推進	I C Tを活用したプレゼンテーションを取り入れた授業を学年ごと編成する	B	<input type="checkbox"/>	B	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		⑤ 福祉教育の推進	社会福祉の理解を深め、地域と協働した生徒の社会性を慎重する	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	76%	73%							
		⑥ 環境教育の推進	地域ボランティアに積極的に参加するように呼びかける	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
II 集 団 の シ ン ジ ン	1 認め合う集団づくりをめざして	① 基本的な生活習慣の育成	保護者等と連携した生徒の基本的な生活習慣を育成する	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		② 豊かな心を育む教育の推進	全校道徳等、道徳の時間の新たな手法についての検討と授業の実施を展開する	B	<input checked="" type="checkbox"/>	B	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	75%	75%							
		③ 体験活動の推進	1年・市長講話・横浜めぐり、2年自然体験学習、3年修学旅行の取り組みを、特別活動や総合的な学習の時間を使って行う	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
		④ 問題行動等への対応の推進	スクールスタンダードの確立や予防的支援を充実させる	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>									
	III 学 校 組 織 の シ ン ジ ン	1 支援教育の推進	① 支援教育の推進	学習環境・授業のユニバーサル化を図るための、スクールスタンダードを定着させる	A	<input checked="" type="checkbox"/>	A	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	80%	80%						
		2 安全・安心に向けた取り組み	① 学校安全の推進	安全点検の充実や日常的な点検行動を確立する	B	<input type="checkbox"/>	B	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	60%	60%						
		3 研修・研究の推進	① 研修事業の充実	計画的な校内研修会を通じた人材育成を図る	B	<input checked="" type="checkbox"/>	B	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>								
			② 教育に関する業務の標準化に向けた取り組み	市内3中学校による標準化検討委員会における協議検討内容を校内において周知する	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	70%	65%						
			③ 信頼に基づいた指導の推進	誠意をもった丁寧な姿勢を励行しながらの迅速な対応と生徒の安全管理に取り組む	B	<input type="checkbox"/>	B	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>								
4 開かれた学校づくり	① 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	小・中学校間で、教員の授業交流を実施する	A	<input type="checkbox"/>	A	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>										
	② 地域との連携の推進	学校関係者評価委員・学校評議員・地域教育評議員会・PTAとの連携を強化する	A	<input checked="" type="checkbox"/>	A	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	80%	80%								

％は、Sを5、Aを4、Bを3、Cを2とし、項目数×5で割った数値

評価基準 S・・・想定以上の顕著な成果が見られ、行動プランが達成された(100%～90%程度)
B・・・課題はあるが一定の成果が見られ、行動プランが概ね達成された(70%～30%程度)

A・・・想定していた成果が見られ、行動プランが達成された(90%～70%程度)
C・・・成果が見られず、または一定の成果が見られたが、行動プランは達成されなかった(30%～0%程度)